



喜小だより



令和4年1月25日発行 発行者 齋藤孝之

自ら学ぶ子 思いやりのある子 健康な子

一人一人がきらきら輝く喜連川小学校

コロナ対策と学習活動の両立を目指して

喜連川小学校の名所の一つに、「突抜き井戸」があります。今は、南校舎と北校舎の間の中庭西側にあり、ビオトープを通過して池にそそいでいます。一年中水が湧きだして、昔はプールの水に使用されたり、スケートリンクを作ったりして、当時の子どもたちにとってなじみ深い場所だったようです。

さて、全国的に新型コロナウイルス感染症の感染拡大が止まらない状況が続いており、さくら市内での感染者もかなりの数に上っております。学校においては、引き続き感染対策を徹底し、子どもたちが安全に、そして安心して学習ができるよう気を引き締めていきたいと思っております。

24日(月)から「6年生による校長室訪問」を開始しました。本来であれば、卒業を前に給食を食べながら歓談する取組でした。昨年度からは、給食後に校長室に来て15分程度歓談するように変更しました。6年生は、私にとって4年生の時に書写の授業を担当したり、海浜自然教室や修学旅行も一緒に行った大切な仲間です。この時間を大切にして中学校に送りたいと思っております。



あいさつ標語

冬休みの宿題の一つとして「あいさつ標語」を、子どもたちに考えてもらいました。全ての標語を読ませていただきましたが、言葉一つ一つを子どもたちが一生懸命考えていたことが分かる標語ばかりです。みんな甲乙付けがたい作品ばかりですが、各学年で3点ずつ選ばれた標語(昇降口を入ったラウンジに掲示してあります。)を紹介します。

- あいさつで つながるみんなの わらいごえ (1年生)
- 元気なあいさつ さむさふきとぶ 心のカイロ (1年生)
- あいさつで みんななかよし おともたち (1年生)
- あいさつで みんなが心 あたたまる (2年生)
- 君のえ顔が見たいから わたしは今日もあいさつをする (2年生)
- おはようと 元気なあいさつ 一日元気 (2年生)
- あいさつで 心つながる いい笑顔 (3年生)
- あいさつで みんなつながる えがおのわ (3年生)
- 元気いっぱい えがおいっぱい 大きな声でこんにちは (3年生)
- 「おはよう」と 言って言われてかがやくぞ 向き合う心とみんなの笑顔 (4年生)
- おはようは 笑顔を作る 魔法の言葉 (4年生)
- あいさつは 心と心を 結び合う (4年生)
- あいさつは みんなをつなぐ あいことば (5年生)
- 友達と きずながふかある こんにちは (5年生)
- こんにちは これで笑顔の 花がさく (5年生)
- あいさつで 自然に広がる すてきな笑顔 (6年生)
- おはようと 魔法の言葉で いい笑顔 (6年生)
- あいさつは みんなの心 優しくつなぐ (6年生)



子どもたち一人一人が「あいさつ」について考える時間になったことが、とても貴重な活動になりました。子どもたちのあいさつへの意欲を高めながら、さらに「挨拶いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい」の喜連川小学校にしていきます。

なお、保護者の皆様にも、本校の学校運営協議会から「我が家のあいさつ標語」を募集させていただきました。たくさんのご応募をいただきありがとうございます。素敵な作品がたくさんありますので、学校運営協議会委員の皆様と相談して、学校だよりや学校のホームページ等を利用して紹介していきます。

